# Googleタグマネージャーの設置(セッションIDトラッキング×imgタグ編)

ATタグをGoogleタグマネージャーに登録する基本的な設定方法です。

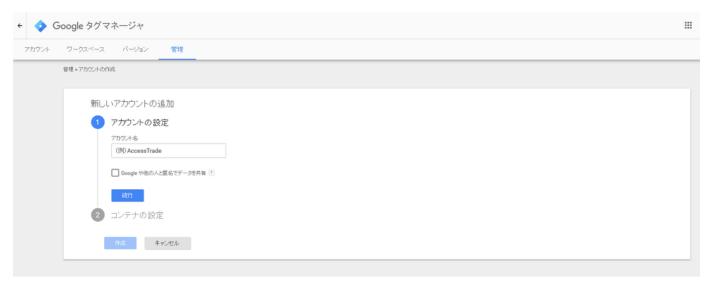
- 1. アカウント作成
- 2. ベースコードの保存
- 3.変数の追加
- 4. トリガーの追加
- 5. タグの追加
- 6. バージョンの作成と公開
- 7. CVタグの設置

## 1. アカウント作成

アカウントを作成ボタンを押します。



アカウント名、コンテナ名を入力し、ウェブを選択して作成ボタンを押してアカウントを作成します。



## 2. ベースコードの保存

アカウント作成後、GTMのベースコードが生成されます。

一時的にテキストファイル等にコピーして保存して下さい。

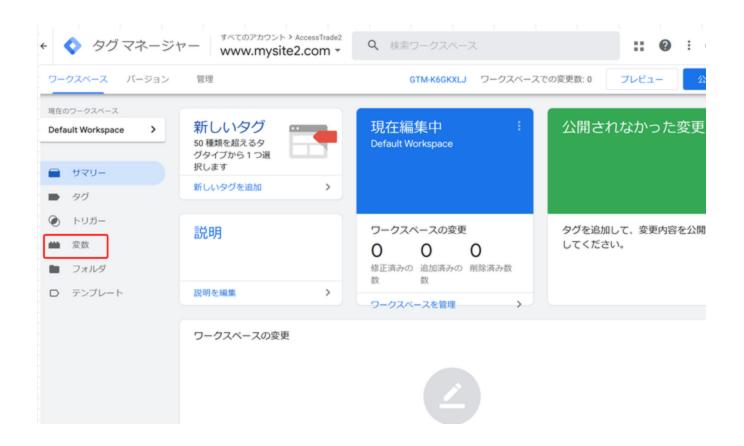


## 3. 変数の追加

使用する報酬タグに応じ、以下の変数を追加します。

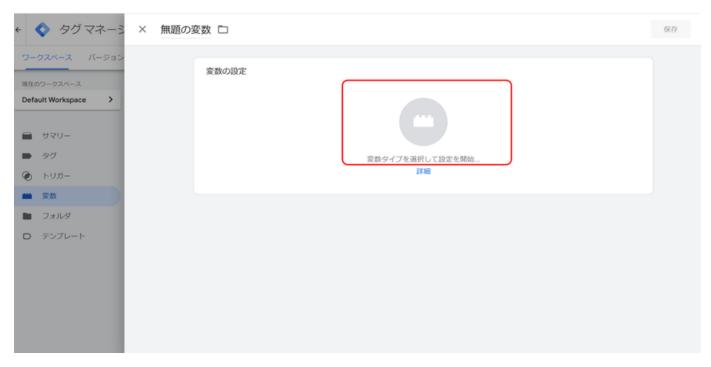
	定額報酬	売上報酬	商品個別報酬	
verify	0	0	0	識別子
value		0		売上金額
vi			0	商品個別用変数["商品ID. 商品数量. 商品単価"]
rk	0	0	0	セッションID

変数ボタンを押します。



#### ユーザー定義変数の新規ボタンを押します。





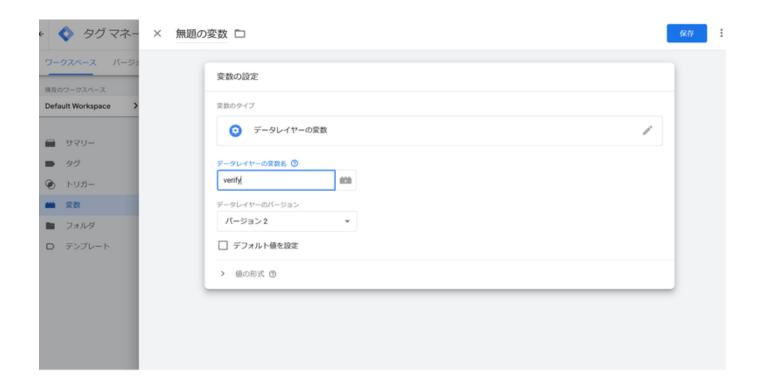
#### CV\_URL

それ以外の変数を設定する場合は②を選択して下さい。



(例)

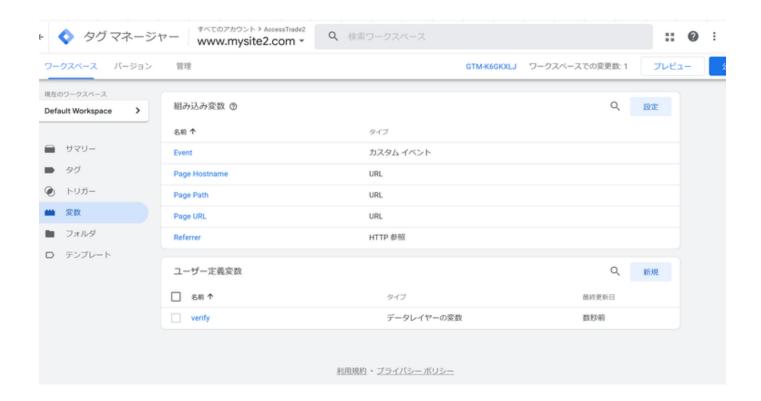
データレイヤーの変数をクリックしデータレイヤーの変数名にverifyを入力して保存ボタンを押します。



上記手順で入力した変数名とあわせて保存ボタンを押します。



保存した変数がユーザー定義変数の欄に表示されます。 設定する変数に応じて手順を繰り返して下さい



## 4. トリガーの追加

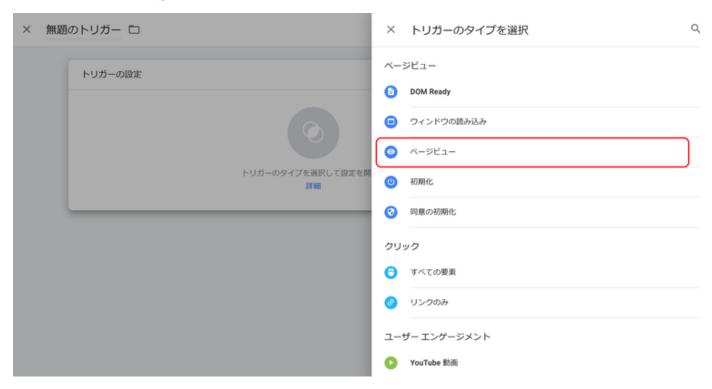
CVタグを表示するタイミングを設定します。

トリガーをクリックして新規ボタンを押します。

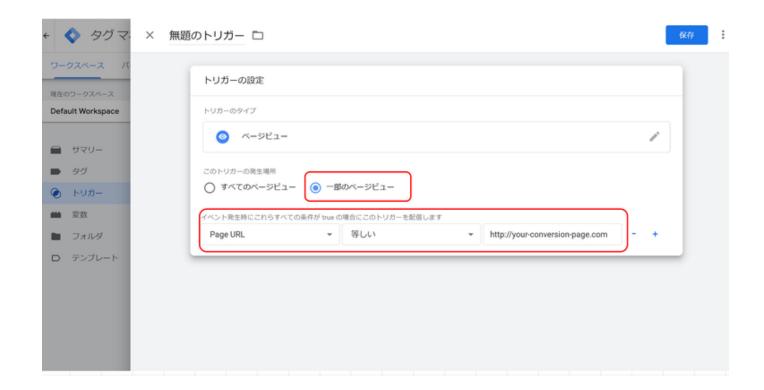




#### ページビューをクリックします。



トリガーの設定枠をクリックするとトリガーの発生場所とトリガーの選択ボックスが表示されます。 オレンジ枠の部分を入力し、保存ボタンを押します。

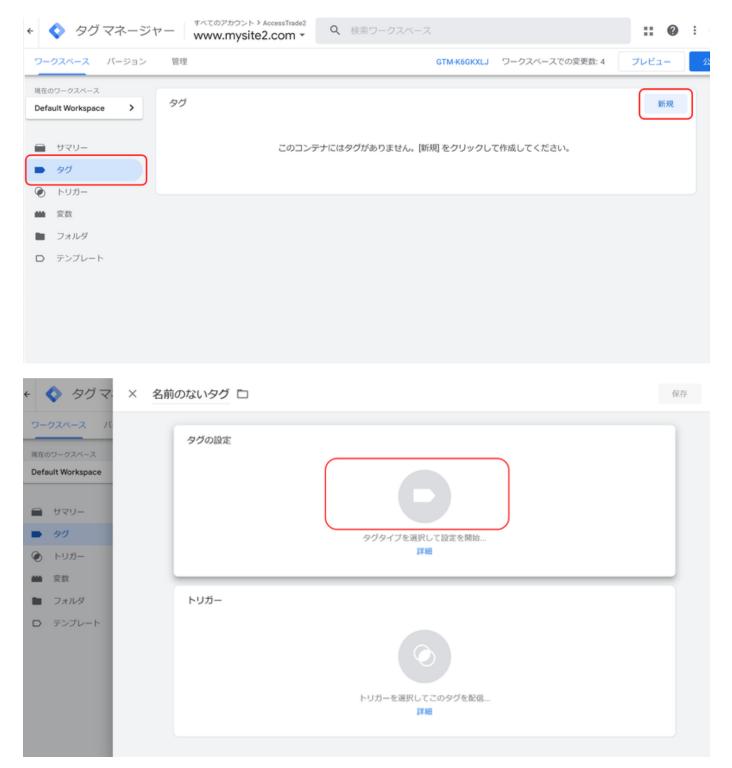


トリガー一覧に作成したトリガーが表示されます。



## 5. タグの追加

アクセストレードから発行されたタグを設置します。 定額、売上、商品個別どれも設置方法は同じです。※下記例は定額報酬です タグをクリックして新規ボタンを押します。



カスタムHTMLをクリックします。



アクセストレードから発行されたタグをHTMLの欄に設置します。



アクセストレードから発行されたタグの全角部分を3で追加した変数名に置き換えます。

#### コピペしないでください。

下記タグをそのまま貼り付けるとエラーが発生します。正式にATから発行したタグで設定してください。

### 定額報酬

```
<img src="https://is.accesstrade.net/cgi-bin/isatV2/()/isatWeaselV2.cgi?
result_id=1&verify={{verify}}&rk={{rk}}" width="1" height="1">
```

### 売上報酬

```
<img src="https://is.accesstrade.net/cgi-bin/isatV2/()/isatWeaselV2.cgi?result_id=2&verify={{verify}}&rk={{rk}}&value={{value}}}" width="1" height="1">
```

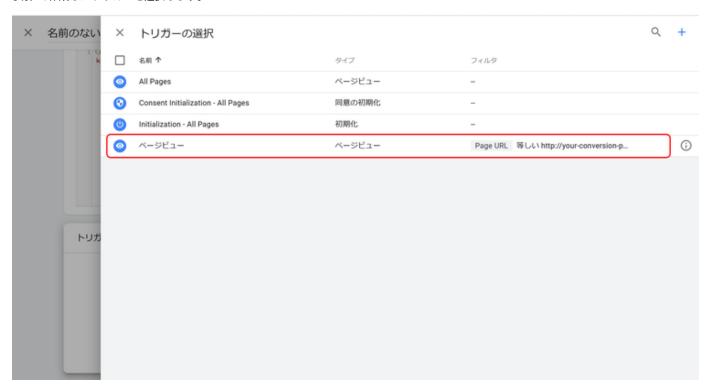
#### 商品個別報酬

```
var vistr = "&vi=";
for(var i=0; i<{{vi}}.length; i++){
   vistr+={{vi}}[i];
   if(i<{{vi}}.length-1) vistr+=("&vi=");
}
var img_element = document.createElement('img');
img_element.src = 'https://is.accesstrade.net/cgi-bin/isatV2/()
/isatWeaselV2.cgi?result_id=3&rk={{rk}}&verify={{verify}}&vi=' + vistr;
</script>
```

タグにトリガーを設定します。



手順4で作成したトリガーを選択します。



保存ボタンを押して保存します。



## 6. バージョンの作成と公開

右上の「公開」ボタン押下でバージョンが自動作成されます。



#### 7. CVタグの設置

CVページに下記タグを設置してください。

% 下記はサンプルになりますのでGTMのスニペットコードについてはGTM側から直接コピーしていただき、スニペット上部にデータレイヤーの変数を設定の上、ご記載お願いいたします。

'ここに識別子'など全角表記の箇所には実際の値をセットしてください 各変数 (verify、value、vi等) の詳細仕様については、アクセストレード導入仕様書を参照ください。

#### 定額報酬タグ

```
<script>
 dataLayer = [{
    'verify': '',
   'rk': 'ID'
  }];
</script>
<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[1]=w[1]||[];w[1].push({ 'gtm.
start':
new Date().getTime(),
event: 'gtm.js' }); var f=d.
getElementsByTagName(s)[0],
j=d.createElement(s),dl=1!
='dataLayer'?'&l='+l:'';j.
async=true; j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document, 'script', 'dataLayer',
'******');</script>
<!-- End Google Tag Manager --
```

#### 売上報酬タグ

```
<script>
  dataLayer = [{
    'verify': '',
    'value': '',
    'rk': 'ID'
  }];

</script>
<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[l]=w[l]||[];w[l].push({'gtm.
  start':
  new Date().getTime(),
  event:'gtm.js'});var f=d.
  getElementsByTagName(s)[0],
```

### 定額報酬タグの設置例

```
<script>
 dataLayer = [{
    'verify': 'testTEIGAKU',
    'rk': '0000xxxxxxxxxx-
}]; // 180byte
</script>
<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[1]=w[1]||[];w[1].push({ gtm.}
start':
new Date().getTime(),
event: 'gtm.js' }); var f=d.
getElementsByTagName(s)[0],
j=d.createElement(s),dl=1!
='dataLayer'?'&l='+1:'';j.
async=true; j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document, 'script', 'dataLayer',
'******');</script>
<!-- End Google Tag Manager --
```

### 売上報酬タグの設置例

```
j=d.createElement(s),dl=1!
='dataLayer'?'&l='+1:'';j.
async=true;j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document,'script','dataLayer',
'******');</script>
<!-- End Google Tag Manager -->
```

#### 商品個別報酬タグ

```
<script>
 dataLayer = [{
    'verify': '',
    'vi': ["ID..","ID..","ID..
"],
    'rk': 'ID'
 }];
</script>
<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[1]=w[1]||[];w[1].push({ 'gtm.
start':
new Date().getTime(),
event: 'gtm.js' }); var f=d.
getElementsByTagName(s)[0],
j=d.createElement(s),dl=1!
='dataLayer'?'&l='+1:'';j.
async=true; j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document, 'script', 'dataLayer',
'******');</script>
<!-- End Google Tag Manager --
```

```
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[1]=w[1]||[];w[1].push({ 'qtm.
start':
new Date().getTime(),
event: 'gtm.js' }); var f=d.
getElementsByTagName(s)[0],
j=d.createElement(s),dl=1!
='dataLayer'?'&l='+1:'';j.
async=true; j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document, 'script', 'dataLayer',
'******');</script>
<!-- End Google Tag Manager --
```

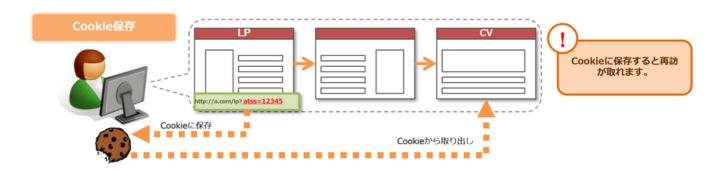
#### 商品個別報酬タグの設置例

```
<script>
 dataLayer = [{
    'verify': 'testKOBETU',
// 180byte
    'vi': ["apple.1.800","
banana.2.2500"], //
    'rk': '0000xxxxxxxxxx-
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
xx'
 }];
</script>
<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w
[1]=w[1]||[];w[1].push({ 'gtm.
start':
new Date().getTime(),
event: 'gtm.js' }); var f=d.
getElementsByTagName(s)[0],
j=d.createElement(s),dl=1!
='dataLayer'?'&l='+1:'';j.
async=true; j.src=
'//www.googletagmanager.com
/gtm.js?id='+i+dl;f.
parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,
document, 'script', 'dataLayer',
```

```
'*******');</script>
<!-- End Google Tag Manager -->
```

#### ※ GTM側の設定は以上になりますが、セッションIDトラッキング対応の為、下記を行ってください。

ATから渡すrkパラメータ(atss)を下記方式でLPページからCVページまで引き継いでください。 atssパラメータは広告成果をトラッキングするための、AT発行のセッションIDです。送信時のパラメータ名の変更は「可」



引き継ぎ方	概要	参考
Cookie保存	LP:受け取ったatssをCookieに保存してください。 保存期間90日以上 CV:Cookieに保存されてるatssを取得して、rk に置き変えてATへ成果通知してください	※成果通知に関しては「3.成果通知方式」を参照ください。 ※ITPの影響を受けるため、JavaScriptでのCookieの保存は 使用しないでください。 ※httponly属性とSecure属性での設定をお願いいたします。